

令和3年度 全国学力・学習状況調査

－取手市の児童生徒の学習状況について－



令和3年5月27日(木)に全国一斉に行われた、全国学力・学習状況調査の結果が公表されました。昨年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休業等で中止となったため、2年ぶりの実施となりました。今回の結果をもとに、取手市内の児童生徒の学習状況を掲載します。

◆調査対象・・・小学校6年生、中学校3年生

◆調査内容・・・ア. 教科に関する調査 国語、算数・数学
イ. 質問紙調査

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問 等

小学校国語 の主な問題内容

- ◆津田梅子について調べて紹介する【スピーチ】でどのような構成で話しているか適切なものを選択する。
- ◆面ファスナーについて書かれた資料を読み、文章と図表を結びつけて必要な情報を見付け、面ファスナーのくっつく仕組みを書く。 など

小学校算数 の主な問題内容

- ◆2つのコースの道のりの差の求め方と答えを書く。
- ◆直角三角形を組み合わせた図形の面積について分かることを選ぶ。
- ◆500mを歩くのに7分間かかることを基に1000mを歩くのにかかる時間を書く。 など

中学校国語 の主な問題内容

- ◆参加者の誰がどのようなことについて発言するとよいのかとそうように考えた理由を書く。
- ◆意見文の下書きの構成の工夫について、自分の考えを書く。
- ◆事前に確かめておきたいことについて相手に失礼のないように書く。 など

中学校数学 の主な問題内容

- ◆数量の関係を一元一次方程式で表す。
- ◆四角で四つの数を囲むとき、四つの数はいつでも4の倍数になることの説明を完成する。
- ◆与えられた表やグラフを用いて、2分をはるために必要な砂の重さを求める説明をする。 など

※詳しい調査問題を、ご覧になりたい場合は、国立教育政策研究所ホームページをご覧ください。

<https://www.nier.go.jp/kaihatsu/zenkokugakuryoku.html>



今年度は、小学校については新学習指導要領が全面実施されてから初めての調査となりました。質問紙からは、ICT機器の活用状況について、また、新型コロナウイルス感染症の影響について把握する質問項目が入りました。



取手市内小学校 国語の結果



成果がみられたところ

- ◎文章全体の構成を捉え、内容の中心となる事柄を把握する力
(思考力・判断力・表現力等 読むこと)
- ◎目的や意図に応じ、資料を使って話す力
(思考力・判断力・表現力等 話すこと・聞くこと)
- ◎思考に関わる語句の使い方を理解し、話や文章の中で使う力
(知識及び技能 言葉の特徴や使い方に関する事項)

課題となったところ

- ▲学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う力※昨年度に引き続き
(ころがって[転がって]いる つみ重ね[積み] げんいん[原因])
- ▲自分の主張が明確に伝わるように文章全体の構成や展開を考える力(書くこと)

今後に向けて



◆文章全体の構成や展開を考えて書くようにする。

- ・文章の構成(組み立て)を考えてから、文章を書いているだろうか？

- 「自分の考え」「理由」「事例」等をどんな順序で組み合わせると、分かりやすい文章になるか、構成を考えるようにする。
- 目的に応じて、詳しく書く必要があるのか、簡単に書く方がよいのかを判断して書くようにする。

◆文脈に応じて、正しい漢字を書くことができるようにする。

- ・学習した漢字を積極的に文章の中で使っているだろうか？

- 書いた文章を自分で読み返す習慣を付けるとともに、学習した漢字を積極的に用いるようにする。
- 同音異義語にも着目し、文脈に合わせて使えるようにする。

取手市内中学校 国語の結果



成果がみられたところ

- ◎話合いの話題や方向を捉える力（話すこと・聞くこと）
- ◎聞き手の質問の意図を捉える力（話すこと・聞くこと）
- ◎登場人物の言動の意味を考え、内容を理解する力（読むこと）

課題となったところ

- ▲書いた文章を読み返し、語句や文の使い方、段落相互の関係に注意して書く力（書くこと）
- ▲文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもつ力（読むこと）

今後に向けて



◆書いた文章を読み返し、伝えたいことが相手に正確に伝わるように推敲する。

- ・自分が書いた文章を**客観的に読み返し**ているだろうか？
- ・表記（誤字・脱字等）の誤りを正すだけの推敲になっていないだろうか？
→各学年における「推敲」の学習のポイント
（1年生）読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方を確かめる。
（2年生）読み手の立場に立って、表現の効果を確かめる。
（3年生）目的や意図に応じた表現になっているかどうかを確かめる。

◆文章中から書き手のものの見方や考え方が表れている部分を捉え、それに対する自分の考えをもつことができるようにする。

- ・**書き手の考えやその根拠などを考えながら**文書を読んでいるだろうか？
→書き手がどのような根拠をもとに、どのような考えを述べているかを考えながら読む習慣を身に付ける。
→文章を読んで考えたことをグループや学級全体で伝え合う際、考えのもととなる叙述を明確に示し、考えと叙述が適切に結び付いているかどうかを考えられるようにする。

取手市内小学校 算数の結果



成果がみられたところ

- 棒グラフから、数量の大きさを正しく読み取る力（データの活用）
- 除法の余りの処理について、日常生活の場面に即してより適切な答えを考える力（数と計算）

課題となったところ

- ▲帯グラフで表された複数のデータを比較し、データの特徴や数値を捉え、言葉と数を用いて記述する力（データの活用）
- ▲小数を用いた倍についての説明を解釈し、ある量の何倍かを表すのに小数が用いられる理由について記述する力（数と計算）

今後に向けて



- ◆複数のデータを比較し、データの特徴を捉え、言葉と数を用いて記述できるようにする。
 - ・グラフ中の数値が何を表しているかを理解し、データの特徴を捉えているだろうか？
 - 読み取った数値が何を表しているのかについて言葉で伝え合うようにする。
 - 比較する際に、帯グラフのどの部分に着目したのかについて説明するようにする。
- ◆小数を用いた倍についての説明を解釈し、ある量の何倍かを表すのに小数が用いられる理由について記述できるようにする。
 - ・小数を用いた倍の意味を理解した上で、自分の考えを説明しているだろうか？
 - 何倍かを求める活動を繰り返しながら、倍の意味について捉えるようにする。
 - 基にする大きさを意識しながら、図などを用いて、考えを説明するようにする。

取手市内中学校 数学の結果



成果がみられたところ

- 与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取る力（関数）
- 問題場面における考察の対象を明確に捉えて、説明につながる立式を導き出す力（数と式）

課題となったところ

- ▲グラフなどからデータの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明する力（関数）
- ▲ある条件下で成り立つ図形の性質を見だし、それを数学的に表現する力（図形）

今後に向けて



◆データの傾向を的確に捉え、判断の理由について、数学的な表現を用いて説明できるようにする。

- ・何を問われていて、何を答えればよいのか理解できているだろうか？
- ・時間の値が小数で表された場合など、数量の単位について理解できているだろうか？
→関数の定義、比例や一次関数の式やグラフの特徴、比例定数などの意味を確認する。
→日常生活に関わる時間や重さなど変化の規則性に関心をもって、「～を求める方法を説明しよう」というような問題に取り組む。

◆ある条件下で成り立つ図形の性質を見だし、それを数学的に表現できるようにする。

- ・1組の平行な線に交わってできる「錯覚」と「同位角」について正しく理解できているだろうか？
- ・図形の性質や、図形が成り立つための条件に照らし合わせて、問題が理解できているだろうか？
→実際に作図したり、三角定規を動かしたりするなど、実物进行操作し、成り立つ図形の性質を見いだすようにする。

児童生徒質問紙調査の結果



小学校児童質問紙の結果から

- 学校が休みの日に勉強をする時間が長く、全く勉強しない人の割合が少ないです。
- 学校の授業時間以外の月曜日から金曜日に、読書をする児童の割合が高いです。
- ▲地域の行事に参加している児童の割合が全国と比較すると低いです。
- ▲「自分にはよいところがある」と思う児童の割合が全国と比較すると低いです。

中学校生徒質問紙の結果から

- 携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っている生徒の割合が高いです。
- 学校の授業時間以外の月曜日から金曜日に、読書をする生徒の割合が高いです。
- ▲「自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉で表すことができる」と思う生徒が全国と比較すると低いです。
- ▲「将来の夢や目標を持っている」生徒の割合が全国と比較すると低いです。



「自分にはよいところがある」「将来の夢や目標をもっている」と思う割合が全国と比べて低いことから、子供達が自己肯定感を高められるような取組を、さらに進めていきます。

児童生徒の生活習慣と学力の関係



児童生徒質問紙の結果と教科の正答率をクロス集計した結果から次のようなことが見えてきました。

このような子供ほど、正答率が高い結果が出ています。

【小学校】



下線が引いてあるものは小中共通しています。

- 朝食を、毎日食べている児童
- 毎日同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時刻に起きている児童
- 1日当たりのテレビゲームをする時間が短い児童
- 自分でやると決めたことをやり遂げるようにしている児童
- 自分で計画を立てて、家庭学習をしている児童

【中学校】



- 朝食を、毎日食べている生徒
- 毎日同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時刻に起きている生徒
- 課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる生徒
- 友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができる生徒
- 自分で計画を立てて、家庭学習をしている生徒

「朝食をしっかり食べている」「毎日同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時刻に起きている」などの基本的な生活習慣や、「自分で計画を立てて家庭学習をしている」などの普段からの学習習慣が、学力の根底を支える大きな要素であると捉えられます。学校では、今後も、友達と関わりながら自分で課題を解決していくような主体的・対話的で深い学びのある学習を展開していきます。